



SEITOKU

聖徳学園ホームページ

http://www.seitoku.ac.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳大学附属聖徳中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

# 聖徳フラッシュ

## ■主なトピックス■

- ・私学初のスクールミーティング開催  
小島文部科学副大臣来校  
附属小学校・中学校
- ・シラク大統領と会見  
「愛・地球博」にジュニア特派員として参加  
附属中学校・高等学校
- ・文部科学省の推進事業3つ目の採択  
「子育て支援センター」
- ・第1回 学位授与式行われる  
博士1名、修士10名が授与
- ・読売新聞社主催  
第75回 新人演奏会
- ・さらに親睦が深まったSOFIT  
幼児教育専門学校
- ・こいのぼり集会  
附属小学校
- ・ならし給食  
附属浦安幼稚園

## INDEX

附属小・中・高	1
学園	2~3
大学院・大学・短大	3~5
幼児教育専門学校	5
聖徳中・高	5
小学校	6
幼稚園	6~7
インフォメーション	8

## より豊かな未来に向け ISOをダブル取得

聖徳学園は、日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

高品質でより良い教育を可能にするシステムを作り上げ、また地球環境を守る管理システムを整え、それが国際機関の定めた規格で認証を得た今、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を開始します。

### ISO9001

(教育の質マネジメントシステム)

### ISO14001

(環境マネジメントシステム)

「ご意見/ご感想募集」  
「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。  
<http://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiawase/>  
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

## 私学初のスクールミーティング開催

### 小島文部科学副大臣来校



と進み、昼食は、食堂において、明和班(縦割班)に分かれていた児童と一緒に会食を行いました。

去る五月九日(月)に、附属小学校・中学校で、文部科学省によるスクールミーティングが開催されました。スクールミーティングとは、同省職員が教育現場を訪問し、実際の取り組みを見たり、保護者や教職員、子ども達の生の声を聴くことにより、今後の施策の推進に役立てるために実施している事業のことです。今回、本学で行なわれたスクールミーティングは、私立学校として初めての開催となりました。



附属小 外国人講師による英語授業を視察

前中は、小学校において、川並弘昭学園長先生との挨拶、一年生の教室オープンルームでの授業を見学後、ネイティブスピーカーによる指導が行なわれている英語の授業や、礼法室での授業を視察。そして、附属小の教員との懇談、保護者との懇談

午後は、場所を附属中学校に移し、礼法や書道の授業を見学した後、施設見学の保護者との懇談を実施。私学であることのメリットはもちろん、デメリットは何か?といった厳しい質問もありました。また、最近の児童・生徒の「体力低下」を懸念し、本学や家庭における、具体的な取り組みについて意見を求められるなど、限られた時間の中で積極的な質疑応答が繰り返されました。

そして最後に、附属中学校の生徒との懇談が設けら



附属小 児童と会食する副大臣(左)

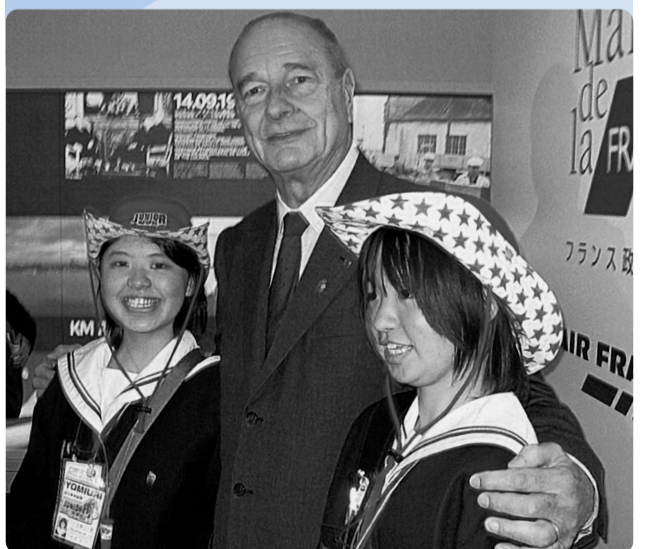


附属中 生徒との懇談

## 附属中学校・高等学校

# シラク大統領と会見

## 「愛・地球博」にジュニア特派員として参加



三月二十六日(三月二十七日の一日泊二日、本校二年A組清治紗伎さん、野崎まりかさん、山田千穂さん、横井友子さんの四名が、博覧会協会と読売新聞社が共催で発行している、読売新聞・ジュニア版のジュニア特派員として、シラク大統領の取材などに参加しました。

特派員に選ばれた四名の生徒たちは、「愛・地球博」の会場に着くと、はじめに地球の環境問題を取り上げたパピリオン、「三菱未来館@earth」の見学をしました。館長さんからは、当たり前だが私達にとってどれだけ大切かということ、この機会に知ってほしい、との話をいただきました。

その後、ジュニア特派員はフランスのシラク大統領がフランスのパピリオンで記者会見に出席されているところを取材しました。許可された報道記者のみしか入ることのないフランス館一階の特別会場内は、緊張でいっぱいになり、生徒の目にはいつしか大粒の涙が流れるほどでした。私たちに一つしか許されていなかった質問を投げかける時間になると、野崎さんが「日本の子供たちにメッセージを。」と大きい声で質問しました。大統領は、是非世界の子供と共に将来に気を配り、自然が与えてくれたものを無駄に使うことのないようにしてほしい、という言葉を送ってくださいました。会見が終わるとシラク大統領が突然手招きしてください、本校の生徒たちの肩に手をかけて、記念撮影をしてくださいました。突然ほおずりなされ、大勢の記者たちの前で、大統領からキスを頂いて頂いた時の生徒たちのきらきらと輝く笑顔がとても印象的でした。

最後にになりましたが、今回の万博に参加させて頂いたことよって、生徒たちは言葉では表しきれないほどの良い経験をさせて頂きました。このような機会を与えて下さった、読売新聞社及びフランス館の方々に始めとするお世話になった全ての皆様深く御礼を申し上げます。



マリ・クリスティヌさん(左端)にインタビュー

知財戦略課 文部科学省の推進事業三つ目の採択  
**「子育て支援センター」**



この度、文部科学省、私立大学学術研究高度化推進事業「の、社会連携研究推進事業」の採択されたのは、

業において、本学の研究テーマ、連鎖的参画による子育てのまちづくりに関する開発的研究が、採択されました。「社会連携研究推進事業」は、平成十七年度からの新規事業で、採択されたのは、本学を含め全国で九件です。この研究の拠点として、子育て支援社会連携研究センター(通称:子育て支援センター)の新設が予定されています。これまでの文部科学省、私立大学学術研究高度化推進事業における本学の研究拠点としては、家族問題相談センター、生涯学習社会貢献センター(共に「学術フロンティア推進事業」)に次いで三つ目になります。子育て支援社会連携研究センターを拠点に、地域市民・産業・店舗等と大学が連携した「子育て支援」を実践して、地域活性化、関連産業の振興、そして子育てのまちづくり開発に向けた研究を推進していく計画です。研究は副学長・松島鈞先生を中心として三つのプロジェクトによって形成され、地域連鎖の形成支援代表:現代レジネス学科・眞壁哲夫先生)、親能力確実修得代表:児童学科・福沢周亮先生)、地域・若者交流(代表:児童学科・天野正治先生)からなります。

第七十二回  
**創立記念日式典**

去る四月二十七日(水)、第七十二回創立記念日式典が聖徳大学川並香順記念講堂にて催されました。まず、学園の創設者の一人であり、本学二代目学長の川並孝子先生の三十三回忌法要が営まれました。そして、創立記念日式典では、本学後援会長である湯浅 勝様が川並香順賞を受賞、さらに、元AO入試研究センター長である平岡 忠先生ほか十一名の先生方に名誉教授の称号が授与されました。今回、川並香順賞ならびに名誉教授の称号を授与されたのは以下の先生方です。

川並香順賞	湯浅 勝 様
名誉教授	中 彦平 様
	井上 菊雄 様
	鈴木 政次郎 様
	佐藤 守 様
	坂本 哲郎 様
	鈴木 勝 様
	鈴木 憲一 様
	利根山 弥恵子 様
	桐生 敬子 様
	平岡 忠 様
	西村 昂三 様
	似鳥 健彦 様

授与式の後、今年度より本学客員教授に就任された国立大学法人千葉大学前学長、磯野可一先生による記念講演が行なわれ、「国立大学法人化により国立大学はどう変化するか?」という演題で、大変意義深いお話があり、式典は盛況裏に終了しました。



聖徳大学オープン・アカデミー 二〇〇五  
**SOA オープン・アカデミー**



川並弘昭理事長先生の挨拶

晴れ渡る平成十七年四月十六日(土)に聖徳大学生涯学習社会貢献センター十四階(ロカス)にて平成十七年度聖徳大学オープン・アカデミーオープニングセレモニーが開催されました。当日は約二百名の参加者が集まり、会場は満員でした。セレモニーはまず、理事長先生の挨拶から始まり、川並弘昭理事長先生は、聖徳大学生涯学習社会貢献セン

ターのオープンニングセレモニーにご参加いただきありがとうございます。SOAには年間約四千数百人に講座を受けていただいています。今人生を八十年と考えると六十年を過ぎてからをどう過ごすかが問題になりま



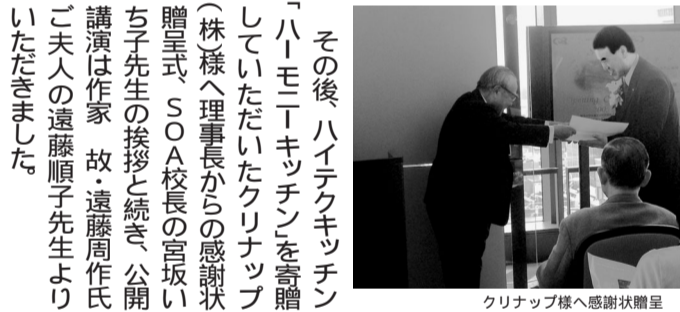
SOA校長 宮坂いち子先生の挨拶

遠藤順子先生は、心あたらない医療。夫・遠藤周作からの宿題のテーマで講演されました。先生は、NPO法人「円プリオ基金センター」の理事長を務められ、胎児の生命を守る運動に従事しています。「私は夫の遠藤周作が死の時を迎えた際、病院の医療にあたかさが感じられませんでした。どんなに立派な業績を残して死を迎える方も、死に際に苦しんで死を迎える事では、生涯を立派に閉じたことにはなりません。できれば医者には、最後の時間、その時を家族に返して欲しい。家族に見守られて最後を迎える事で生涯を閉じることの良いのではないで

しょうか。そのような病院の医療にはあたかさが感じられます。確かに医者は患者が最後まで生きるように手を尽くします。しかし、医者が患者の死を覚悟した時、最後はどのようにするかを家族に決めさせてもらっても良いのではないのでしょうか。私たちは最後の決断を医者に押し付けずに勇気を出して話す事が大切です。それがあたたかい医療に繋がるのではないのでしょうか。」と話されました。

最後に、ミニコンサートとして音楽文化学科 小泉恵子先生(ソプラノ)、原佳大先生(ピアノ)による「シユトラウス作曲「春の声」とF&Kドップラー作曲「ハンガリアン・ファンタジー」(作品35)を一本瑛美先生(第一フルート)、高橋あかね先生(第二フルート)、原佳大先生(ピアノ)で演奏し、大きな拍手に包まれて大歓声の中、オープニングセレモニーを終える事が出来ました。オープニングセレモニー終了後、施設見学も行われました。中でも理事長先生より感謝

状贈呈のありました十階キッチンスタジオには多くの見学者が集まり関心の高さが窺えました。聖徳大学生涯学習社会貢献センターでのSOA講座は四月十八日より始まり、受講者に大変好評をいただいております。生涯学習社会貢献センターは、今後の生涯学習や地域の活性化に益々大きな役割を果たすことが期待されています。



クリナップ様へ感謝状贈呈



遠藤順子先生の講演

その後、ハイテクキッチン「ハーモニークITCHEN」を寄贈していただいたクリナップ(株)様へ理事長からの感謝状贈呈式、SOA校長の宮坂いち子先生の挨拶と続き、公開講演は作家 故・遠藤周作氏ご夫人の遠藤順子先生よりいただきました。



「キッチンスタジオ」の見学者



一本瑛美先生、高橋あかね先生のフルート演奏



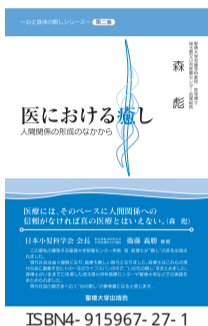
小泉恵子先生の熱唱

# 「心と身体の癒しシリーズ第二巻刊行」 「医における癒し」 森 彪 著 AMAZONとの提携によるネット販売導入

聖徳大学出版会(出版事業課)

聖徳大学出版会は、発足の新たな第一歩として「心と身体の癒しシリーズ」の企画・刊行・販売に皆さんの力を添えを頂いて取組んでまいりましたが、従来の紀伊国屋書店(全国主要店舗)に加えてAMAZONとの提携によるネット販売もこの四月より導入しましたのでお知らせ致します。

現代の医学は高度な医療の発展で病状から開放される確率が高くなっている一方で、医によって癒されるものが少なく不満をもつ人も多くなっています。医は肉体的治療のみでなく心の安定した癒しを伴うものでなくてはならないという著者の信念が全編に流れています。これまで著者が医療現場で実践してきた経験を基礎として書かれたもので、主要目次は、「医とは何でしょう」「いのちの原点をみつめて」「からだの原動力」「もう一人ぼっちの人間ではないなど」となっています。実際に病氣と闘った人たちの例が著者の暖かい心で捉えられており、それが本書の特徴となっています。



ISBN4-915967-27-1

尚、当シリーズ第二巻は本学児童学科教授、保健センター所長で埼玉県立小児医療センター名誉総長の森彪先生著による「医における癒し」人間関係の形成のなから、近く刊行される予定です。

## 「保育の聖徳」夏の恒例行事

### 第三十八回SEITOKU夏期保育大学 七月三十日開催!

#### 生涯学習課

保育・幼児教育の分野で、長きにわたる伝統と実績を誇る本学が、今年の夏も「SEITOKU夏期保育大学」を開催いたします。この恒例行事も三十八回目を迎えますが、今回は「子どもの生活を考える」を総合テーマに、全体会と六つの分科会で構成されます。

全体会の講演には、マスメディア等でも広く活躍中の小児科医・神山 潤先生を講師としてお迎えし、生活リズムの乱れが子どもたちにどのような影響を及ぼすのか、専門家のお立場からのお話をじっくりと聞かれます。全体会の後半に

第38回SEITOKU夏期保育大学  
 時:平成17年 7月30日(土)10時~16時  
 場:聖徳大学松戸キャンパス(松戸駅東口徒歩5分)  
 総合テーマ:「子どもの生活を考える - 園、家庭、地域の連携 -」  
 全体会:講演「生活リズムの乱れについて」講師/小児科医・神山 潤先生  
 分科会:保護者とともに子育てを/1、2歳児の「かみつき」への対応を考える/  
 子どもの豊かな生活を支える人材活用/気になる子どもの援助について/  
 たのしく 手あそび 歌あそび/子どもの発想を豊かにするお面づくり  
 受講料:一般5,000円 卒業生4,000円  
 お問合せ・お申込みは・・・聖徳大学生涯学習課 047-365-3601(直通)までどうぞ

## インタビュー 児童学科 室田 洋子 先生 「食卓」について考えてみませんか? スケッチに表れる家族の関わり



今回は児童学科 室田洋子先生にお話を伺いました。先生は子どもが描いた食卓のスケッチを使って、家族の関わりと子どもの心の問題を新しい観点から考えるという調査を行い、その調査は産経新聞や毎日新聞など広くメディアに取り上げられました。

### 先生の専門について教えてください

【室田】私の専門は発達心理学と臨床心理学です。幼少期から児童、そして思春期の人たちがどのように発達途中的子どもが示す様々な不適応行動や心の問題の解決に取り組んでいます。例えば、すぐ泣きの長泣き、少食、偏食、情緒障害などの心や行動の問題です。沢山の御母さんたちが悩んでいて、私はこのような問題を解決するのが得意な専門家心の立て直しの職人です。

### 食卓に焦点を当てたのはなぜですか?

【室田】子どものさまざまな問題を解決する方法として食卓状況に焦点を当ててみると、もともと分かりやすいのです。食卓は、関わりのある場です。心にふたをして通じ合えないでいた人とも一緒に飲みましょうかという関係になると思いがけないほどに理解は深まるものです。このように自然であり、またの心をさせる場所が食卓の状況なのです。食卓を家族関係の立て直しに利用することもしばしばあります。

### スケッチを使った調査のねらいは何ですか?

【室田】質問紙のみの調査では子どもは「普通」と満足の答えを出しがちです。ところが、その裏付けとして食卓のスケッチを描いてもらおうと、これが普通!?という場面が多く出てきます。これはとても意味があることです。「普通」というのは毎日毎日同じ経験を繰り返している「普通」と感じるので、電車の中で立つて食べる朝食も、布団の中で食べる朝食も、普通の朝食も、質問紙で聞くと「普通」と答えませんが、絵を見るとそうじゃないことがわかります。

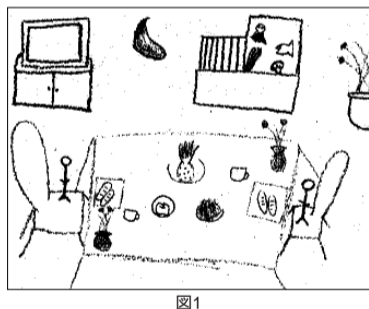


図1

### 印象に残っている絵について教えてください

【室田】図1は憧れの食卓のスケッチです。水槽には熱帯魚が泳いでいて、テーブルにはお花がいてあって、おいしそうな果物も置いてある。食事の相手は芸能人と説明があります。でも人マークしかありません。人マークというのは会話がないか想像もできないということなのです。いつも食卓に会話がないことを示しています。また、「コミュニケーション」を求めた末に書いた画が学校給食のスケッチ

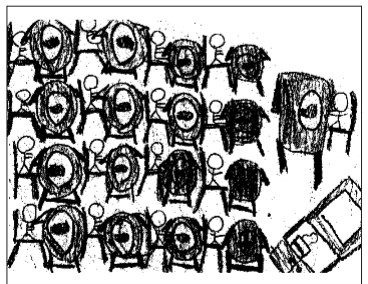


図2

(図2)です。みんなと一緒



図3

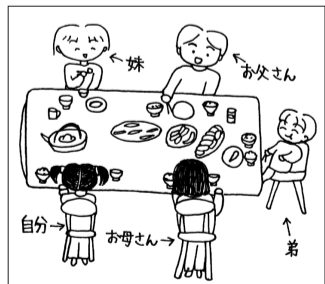


図4

【室田】三歳から五歳くらいの子どもの場合は台所に来たりしますね。そのときにチャンスなんです。「なんかやってみようよ」とか「お母さん、手伝ってよ」とか「お父さん、手伝ってよ」とか「お兄さん、手伝ってよ」とか「お姉さん、手伝ってよ」とか「自分、手伝ってよ」とか

### 最後に、学生たちにアドバイスをお願いします

【室田】日頃から人間の現象を注意深く大事に見てほしい。そのことに興味を持って見てほしい。それに関わりながら自分が変化していくことにドキドキする遊び心をもってほしいですね。遊びの心というのは好奇心に満ちていて、主体的で自発的。そういう心があれば、あんまり努力しなくても新しいことが頭の中に入ってくる。遊びの中で興味を持って勉強すると、どんなに大変なことでも苦にならないです。食事は心がけて誰かと一緒に食べてほしいのです。食卓で人は、かかわりを食べているのですから。

# 大学院人間栄養学研究科 第一回 学位授与式 行われる

聖徳大学大学院の学位授与式は二〇〇五年三月十九日(土)に聖徳大学で執り行われました。博士(栄養学)の学位は、食物科学領域での「児童の食育推進に関する研究」の論文を呈出した鈴木洋子さんに授与されました。この博士論文が視点をあてているのは食育の問題です。その重要性ならびに緊急性がきわめて高く、またそれが広く求められています。現代の子どもの教育には必須なものです。鈴木洋子さんは、子どもの食育

博士 1名、  
修士 10名が  
授与

には包丁が大切と考え、こども用包丁を開発しました。さらに、この包丁を用いる子どもたちの食生活改善は早期に実行すること、その教育は、こどもの体力にあつた包丁技能の修得をさせるなどの体験的要素に富む食育が有効であることを示しました。この食育研究は、食育推進においてきわめて効果が高いことも立証しました。これらのことから、この研究論文は、こども教育研究分野の論文として高い評価を受けました。



鈴木さんの開発したこども用包丁(重さ100g、刃渡り約11cm)

鈴木洋子さんの研究成果をもとに開発された「こども用包丁」はすでに実際に市販されています。写真、開発したこども用包丁。また、この「こども用包丁」は、こどもを対象とする料理教室で実際に使用され、教育効果をあげています。



修士(栄養学)の学位は、栄養科学領域の研究では、大内みどりさん、許斐亜紀さん、星野徳子さん、上田ひとみさん、藤田史子さん、矢澤美和さん、劉然さんの七

名、食物科学領域の研究では川上明子さん、黒葛原廣子さん、原千晶さんの三名あわせて十名に授与されました。聖徳大学大学院人間栄養学研究科の人間栄養学専攻博士前期課程には、食物を研究対象として食品の評価や調理技術・加工技術と開発と評価を研究対象とする「食物科学領域」と、人間の栄養、生活、健康、能力の相互作用を研究対象とする「栄養科学領域」があります。博士後期課程では、人間の生涯に視点をあてます。その成果は高度で専門的な人間の食育と研究指導を行うことができます人材を養成しています。

## 読売新聞社主催 第七十五回新人演奏会



越後桂さん



富岡春恵さん



行本奈保子さん

五月四日、読売新聞社主催第七十五回新人演奏会が、東京芸術劇場大ホールで行なわれました。本学、音楽文化学科をこの三月に卒業した越後桂さん、富岡春恵さん(声楽)、そして行本奈保子さん(ピアノ)が出演しました。この演奏会は、全国の音楽系大学・短大から選ばれた新進の音楽家たちが一堂に会し、二日間にわたって開かれる日本で最も歴史

## 今年も高い就職率

現代ビジネス学科

現代ビジネス学科でこの三月に卒業した第二期生の就職率は九十四・九%の高率でした。前年の第一期生の就職率が九十七・六%と高率でしたので、引き続き好調な実績を挙げたと言えます。世間では労働市場の改善がささやかれましたが、まだまだ、女子大生の就職市場は、「超氷河期」の厳しさが続いています。

「半年間のインターンシップ」に出かけます。大学での勉強では十分に学べない人間関係の難しさ、仕事の流れをつかみ、受身ではなく、積極的に仕事に励むことの大切さ、あるいは、顧客の満足のため、責任を持って期日までに仕事を完成させることなどの大事なことを学びます。二ヶ月もすれば顔が学生から社会人へ変わります。成果が挙げた何よりの証拠です。当然に社会でも評価されるものを身につけたのですから、就職できるのは当たり前です。引き続き、社会で評価される女性を育て、少子・高齢化時代のニーズに応えていきたいと考えています。

## 基礎学力向上の成果

総合文化学科

短期大学部総合文化学科では昨年度から本格的にカリキュラムの中に、就職試験への対策も組み込みつつ学生の基礎学力向上を目的とした科目を開発し、学科全体でこれに取り組んできました。その一つ、人文科学総合講義では日本語の常識、英語の常識、政治経済や国際社会の常識について、もう一つの自然科学総合講義では、大学であるいはビジネスで必要な最小限の数学基礎知識とその応用について学ぶ事になっています。一年間を通して二教科で二単位という、学生にとってハードで、教える側でも通常授業の倍以上の時間と労

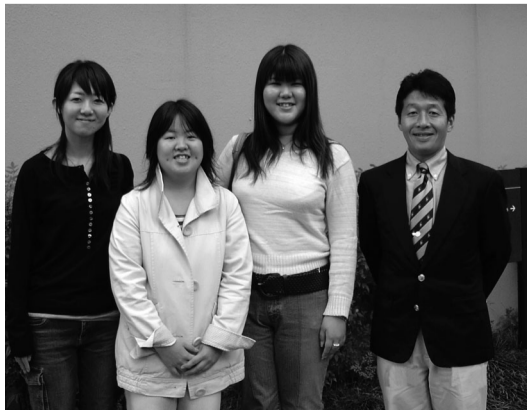
力をかけたサービスを提供するという授業となっています。又きめ細かい指導ができるように少人数の受講というのも特色です。この取り組みの効果が早速現れ、昨年十一月実施の就職実践模試で、短期大学部総合文化学科のみが一般常識(社会科学、人文科学、自然科学、時事および基礎学力、英語運用、日本語理解判断推理)の全ての分野で前年度の成績を上回るといいます。さらしい結果を得ました。これに意を強くして、総合文化学科では基礎学力の向上とともに良い就職を願って、今年も教員一同努力を続けていくつもりです。

## 外国語学科のニューコンセプト 一年間の全員海外留学と 英語力抜群の学生

外国語学科!新しく始めるには新しいエネルギーが求められます。本年度は前年度よりほぼ倍にあたる新入生を迎えて、七人の専任教員(含・英米人各一名)と共に張り切って、毎日を向上の歩みとしながら進んでいます。一方、現三年生のうち、三名がオーストラリアのUniversity of New South Wales (UNSW)に留学中です。で、「陣中見舞い」を兼ね、山岡洋先生が出かけましたが、みな元気で勉学と異文化交流を楽しんでいる様子を報告してもらいました。外国語学科は、全員留学

し、しかも一年間の滞在を目標にしていますので、他大学でよくあるような日本語を英語に訳すだけの授業では、役に立ちません。英英辞典の活用、自学自習、自主講座、個人指導など、少人数のまとまりの良さを発揮して充実した学生生活を過ごしています。新しい学科なので、学生のためにやることなら新しいこともやってみようというところで、音読の重視、発音熟達度の十段階測定なども試みています。そのせいか、外国語学科の学生は、日本人の苦手な発音、例えば、LとRの区別例: light / right

など)ができない学生がいなくなったことを喜んでいきます。本学科が試みてきた、「英語が使える日本人のための発音指導」というプロジェクトが文部科学省に認められて、今後本学科が中心役割を果たすことが期待されています。回りに自分よりできる学生がいると、それと比較して、自分が頭がわるいのだと即断して学習意欲さえ失ってしまふ学生がおります。そこで、人間の能力など決まるものではないと、オリエンテーションの時、私は、「一を聞いて十を知る」気持ちを強調しました。英語の能力をつけたければ、「七人の侍」が



左から曹明順さん、田中千晶さん、本澤理恵さん

聖徳大学は国際的な英語力を測る、TOEICとTOEFLの測定結果を重視しています。TOEFL高得点者にはその点数に応じて、留学費用の一部を奨学金として授与することになっています。聖徳大学は、勉強する学生の楽園なのです。

# 電子オルガン新人演奏会



全日本電子楽器教育研究会主催の電子オルガン新人演奏会が、三月二十五日に銀座ヤマハホールで開催さ

## 平成十七年度

# 外国人留学生が入学

国際交流課

今年も本学に、新たな外国人留学生が十一名加わりました。現在、大学院、学部短大には、中国、韓国、台湾からの留学生があり、新入生を含めて計三十名の在籍となりました。

四月十三日(水)には、新入生オリエンテーション終了後に、留学生オリエンテーションが開かれ、国際交流委員会委員、在学生二年生以上の留学生と新入生の顔合わせを行いました。自己紹介の中で、在学生は、自分達が新入生の頃を振り返り、悔いのない留学生活になるようにとたくさんのアドバイスをしていました。一年間で大きく成長した姿を見て頼もしく思うと同時に、新入生も、多くの良き友人

を作りました。この催しは今回が第十六回になります。聖徳大学は第一回より今まで連続して出演しています。コンクールのように順位を決めるわけではなく、せんが、その年の卒業生の中からたった一人学校代表として選ばれて演奏を披露するという晴れの舞台です。今年も全国から十大学、十一短大、専門・音楽学校五校から計二十六人の学生が参加しました。

今年の聖徳代表は、大釜慶子さん。附属高校から聖徳大学に進み、計七年間聖徳の「和」の精神の下で研鑽に励んできました。演奏した曲は、マックス・レーガー作曲「Gloria in excelsis」というパイプオルガンの曲を、大釜さんが電子オルガン用に音作りと編曲をしたものです。彼女は附属高校生の時に授業で聴かせていただいたJ.S.バッハの「マタイ受難曲」に深い感銘を受けたということ、副科で三年間パイプオルガンも勉強してきました。重厚さの中にも多彩な響きややわらかな表現も加えた品のよい演奏が聖徳らしさを発揮してくれました。美しいペダル奏法が聴衆を魅了しました。



留学生オリエンテーションにて

を張ってほしいと思いましたが、本学では、国際交流の輪を広げていく為、毎年、いくつかの留学生行事を行っています。六月のフレンドシップパーティや十一月の学園祭への企画参加等に加え、日本文化に触れることができるような新たな行事も計画中です。

小さな輪ではありますが、諸外国との付き合いの中で、民間レベルでの交流は欠かすことができません。皆様のご協力を賜りながら、一人でも多くの親日家・知日家を送り出すことに貢献できればと考えております。また、留学生が日本で所期の目的を達成し、留学を成功させることができるよう、惜しみない支援をしていくつもりです。

## 総合演習

### 笑顔講座・心からの笑顔を 作る笑顔から 出てくる笑顔に

専門学校では、学生たちの生活目標として、笑顔の聖徳を目指しており、笑顔溢れる学生生活を送ってもらいたい。四月二十三日(土)に、部一年生対象として元NHKアナウンサーの久下葉子さんをお迎えし、笑顔の講座を実施いたしました。

学生の受講後の抱負を聞くと、受講して「笑顔」の魅力を感じたなどの感想がありました。学生の抱負を紹介すると、「笑顔がもっと素敵になるように、心も健康にしていきたい」、「言葉よりも顔の表情や笑顔の重要性を感じました。この講座を受けて、ますます笑顔の大切さ、人に与える印象を知ったので、私も素敵な笑顔ができるようになりたい」と思っています。そして子どもたちがつられて微笑んでくれるくらい元気で表情豊かな大人になりたいと思っています。「将来、先生になったら私も笑顔でいるのももちろん

心から、身体から明るさ、優しさ、温かさの伝わってくる心の癒される存在になりたいです。普段の生活から先生や友達にも知らない人にも笑顔で接して行こうと思います。努力しない笑顔を目指します。などがありました。この講座から各自が感じたことや抱負を今後の生活に生かし、笑顔溢れる学生になってもらいたいと思います。

毎年恒例の遠足SOF T(新入生歓迎遠足)を、五月十三日(金)・十四日(土)と箱根に行ってきました。このSOF Tは、新緑の自然の中で、一泊二日の集団行動をすることにより、新入生と在校生、先生と学生がより強く結びつき、教育効果の増大をはかり、社会人になる上で必要な規則正しい団体生活の訓練をすることを目的としています。また、この機により良い友達を多く選び今後の学生生活に生かしてもらいたいものです。

新入生は、在校生と先生方に協力をしていただき有意義な時間を過ごすことができました。夕食後のグループミーティングでは、在校生の部屋に新入生が招かれ、学生生活のことや実習の経験等の話をしたりしました。

## さらに親睦が深まったSOF T (セイトク・オリエンテーション・フレンドシップ・ツアー)

在校生は、新入生をリードし、新入生を歓迎するため部屋の装飾をするなどお世話をする姿が見られ、一回り大きくなって、頼もしい一面も見られました。

二日目は、箱根園に行き、自主見学をいたしました。友だちと一緒に食事したり、水族館で見学をしたりとクラスの親睦をさらに深

め、楽しい有意義な遠足になりました。今後、この経験を生かし、さらに親睦深い学生生活にしてもらいたいと思います。

## 保護者の授業見学

また、担任等との面談も可能です。

**保護者授業見学[期間]**

[前期]  
平成17年5月2日(月)~7月8日(金)

[後期]  
平成17年10月3日(月)~  
平成18年1月20日(金)

**見学授業[時間]**

月曜日~金曜日  
(1時限目~7時限目・全授業)

土曜日は、実習オリエンテーションおよび補講等を実施いたしますが、不定期ですので、お問い合わせの上、お申ください。ご案内いたしました、授業見学申込書で申込みしてください。ご質問・お問い合わせは、本学 学生サポートセンターまで遠慮せずにご連絡ください。

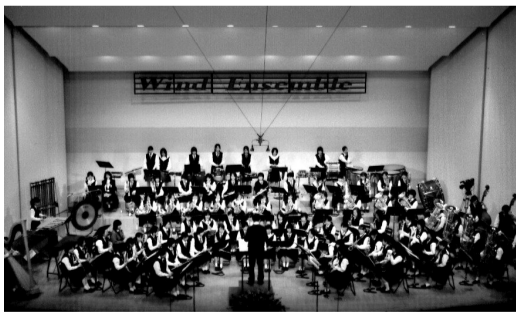
## だより 幼児教育 専門学校



新入生は、在校生と先生方に協力をしていただき有意義な時間を過ごすことができました。夕食後のグループミーティングでは、在校生の部屋に新入生が招かれ、学生生活のことや実習の経験等の話をしたりしました。

## 吹奏楽部 第十六回定期演奏会

聖徳中学校・高等学校



去る三月二十四日(木)と二十七日(日)の二日間に行われ、本校吹奏楽部による第十六回定期演奏会が牛久市中央生涯学習センター文化ホールにて開催されました。二十四日のAプログラムは、主に中高校生を対象としたプログラムで、今回は近隣幼稚園の園児を招待しての音楽鑑賞会を兼ねて行いました。平日の午後一時三十分という開演時間にもかかわらず、七百名を超える方々のご来場を頂きま

した。また、二十七日のBプログラムは一般の方を対象としたプログラムで、休日ということもあり、約千名の方々が来場されました。会場は二階席まで埋まり、立ち見の方も見受けられるほどの大変な盛会となりました。高校三年生の部員たちにとってはこの定期演奏会が最後のステージとなりましたが、銘々の部員がこれまで日々磨いてきたすべてのものを表現し尽くそうと懸命な演奏をしてくれました。終演後の送別会では持ちきれないほどの花束を抱え、新たな人生に巣立ってゆきました。

新学期を迎え、吹奏楽部はまた新たな道程を歩み始めています。新入部員を迎えるなど活気は増すばかりです。なお、次回の定期演奏会は、平成十八年三月二十六日(日)に同会場にて開催されます。部員一同、多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。

附属小学校

# 大空へはばたけ 一年生!



校庭の桜の木たちが一年生の入学を待っていたかのようになり、一斉に開花しました。平成十七年四月八日、温かな春の日差しに包まれて、第二十回入学式が行なわれました。八十二名の新入生、今年度四百九十八名の児童でのスタートとなりました。

今年度は、新しい趣向として「みんなで一年生の入学をお祝いしよう」ということで、一年生は一年生の廊下、三年生は児童玄関、そして四年生は食堂に、それぞれ壁面装飾をしました。また、教員では今年度の一年生の学年カラーは水色。このカラーをイメージして、ワークスペース壁面には、大空に気球・飛行機・飛行船が飛びまわるイメージで飾り付けをしました。

式では、担任からの呼名に、「はい」と元気に挨拶する声が響きました。祝電披露の場面ではお祝いの言葉に「ありがとうございます」と声を発す一年生もおり、会場は微笑ましい空気に和

みました。一年生を誘導する担当にあたった六年生は、「一年生かわいい!」と声を揃えて言っていました。「こっちについてきてね」と後ろを振り向きながら歩く姿は、最高学年としての希望に溢れ、頼もしく感じられました。

四月十四日の一年生を迎える集会では、他学年の児童たちがびっくりシンフォ

二丁の合奏をしてくれました。また、一年生の入学を心待ちにしていた二年生から、朝顔の種もいただき、かわいい封筒に心を込めて書かれたメッセージを、一年生はたどたどしくも真剣に読んでいました。そして「お家にかえたら読んでみよう」と、大切そうにランドセルにしまっていました。

翌日の、明和班顔合わせでは、一年生は、自己紹介カードを持って明和班の仲間と対面。そして、班員にサインをしてもらい、ハンカチ落

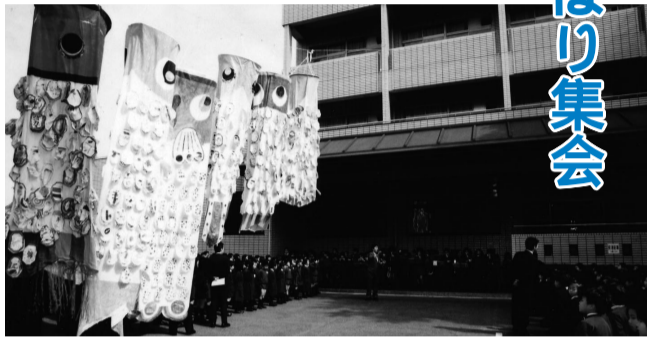


としなどのゲームをして交流を深めます。初めは不安そうな顔をしていますが、あつという間に仲良しになれる、とても素敵な集会です。

間もなく、運動会・望月校外学習と大きな行事を迎えます。どの行事にも、期待を持って臨めるよう、担任一同力を合わせていきたいと思っています。

## こいのぼり集会

附属小学校



去る四月三十日(土)、附属小学校で「こいのぼり集会」が開かれました。毎年恒例の集会で、各学年で一匹のこいのぼりをつくり、そのつろこい一枚一枚に子ども達が自分の目標を書き込み、児童全員の思いを身にもとった六匹のこいのぼりが、集会当日の空に掲げられました。心地よい風のふく快晴の空のもと、こいのぼりも子ども達も元気いっぱい姿でした。

# 幼稚園短信

## 初めての保育参観

附属幼稚園

園庭の樹々も新緑の芽吹く季節となりました。入園・進級から二週間が過ぎ、新しい集団生活にも慣れ始め



## にこにこルーム もも組

附属第一幼稚園

本年度も二歳児を対象にした「にこにこルーム」もも組がスタート致しました。二歳児学級では、あいさつ・衣服の着脱・排泄など基本的な生活習慣の自立・友達との関わりの中で優しい気持ち・譲り合う心・我慢をすることを育て、のびのび「いきいき」とした子どもを育てています。この二歳児学級は平成十年より開催し、今年で八年目になります。在園児保護者の口コミやインターネットを通して地域の方々にも随分浸透して参



た四月二十日(水)、二十一日(木)、二十二日(金)の三日間附属の四つの幼稚園が同日各学年毎に保育参観を実施しました。保育参観は、幼児達の活動の様子を保護者の方に実際にご覧頂き本園の幼児教育について、理解を深めていただけるように学期毎に実施しているものですが、この時期の参観は新入園あるいは進級直後のせいとか、どの保護者の方々もお子様方の様子が大変気になるようで、中には受付時間前からご両親で来園し玄関の扉に顔を押し当てて中の様子を伺う姿も見られました。幼児達も何度か玄関ホールに来ては保護者の方々が来園するのを待つなど

りました。初めは自由奔放に自分本位の行動をしている子ども達もたくさんいる友達との関わりを通して、楽しく遊ぶ為にはいろいろな約束ごとがある事を知り、次第に身につけていきます。そんな子ども達も三歳児入園当初からもも組の経験を



に自分本位の行動をしてい

る子ども達もたくさんいる友達との関わりを通して、楽しく遊ぶ為にはいろいろな約束ごとがある事を知り、次第に身につけていきます。そんな子ども達も三歳児入園当初からもも組の経験を

落ち着かない様子を感じられま

した。新入園児の三歳児組では、入園して間もない幼児の幼稚園での生活ぶりを見ていた



入会した新もも組も全員がオムツをしており排泄面はもちろんですが、所持品の始末等の指導にも多くの時間を費やすことにな

るでしょう。

今年度も家庭の役割や幼稚園の役割について話し合い連携を図りながら子ども達の日々の成長に期待を持ちもも組の保育が

子ども達もニコニコ笑顔で終わることができました。参観後は、クラス毎に懇談会が開かれましたが、照れて名前を言うことができない幼児やぶざけてしまう幼児も見られ保護者の方もどう対応してよいか困っているように見えました。これからも幼稚園生活を通じ保護者の方々と共に良い子育てをして参りたいと思

います。

より充実なものになるよう努力して参りたいと思

### 「生活リズムは食生活から」 ～新学期はじめての講演会～

附属第三幼稚園

今年度初めての講演会は、桜吹雪の舞う四月十四日(木)、聖徳大学生活文化学科教授桂きみよ先生によって、「生活リズムは食生活から」というテーマで行われました。

先生は、一日三食の生活習慣は江戸時代から始まったもので、心と体の健康を保つためには、「毎日の食事を味わっておいしく食べる」「家族や友達と会話を楽しくしながらゆとりよく食べる」ことが必要だと言われました。

しかし、現代では、決まった時間に三食食べるという規則正しい食生活をおくっている家庭は全体の二十%しかなく、孤食している子どもも年々増えているそうです。そして孤食している

子どもの心と体には風邪を引きやすい「目眩がしやすい」「夜よく眠れない」などの変化が見られるようになってきているそうです。体にはもともと、体内リズムがあり、生活リズムを体内リズムに合ったものに反してあげることが必要だと強調されました。そのためには、小さい頃から食事作りに参加したり、家族揃って食べる機会を多くすることが好ましいようです。参加されたお母様方は、桂先生独自の「食品カード」による食事のバランスチェックの仕方なども教えていただき大きなヒントを得て少しほっとされたようでした。

今、かなり問題視されている「孤食」は、子どもの成長に良いことは全く無いように思われます。「食事は楽しいもの」であり、「食べる」ことが好きな子ども達に育ててほしいと思います。

行いました。初日のメニューはクラッカーサンドで円形クラッカーの上に白い生クリームが綿雲のようにかかり、その上にイチゴが一際赤く鮮やかに置かれていて、色彩も形もよくお飾りとして置ける程で、食べて形の無くなるのが勿体ないくらいでした。

### ならし給食

附属浦安幼稚園

普段の給食が抵抗なく頂けるように、ならし給食を四月十八日、十九日の両日



静かに手を膝の上に置き待っている子ども達も、いざ先生方が配膳すると、嬉々としてはしゃぎ、指で触ったり、紅一点の赤いイチゴが鮮やかに目に飛び込んでくるのでしょ、先生を見上げな

### 初めての防災訓練

三田幼稚園

毎年、年六回の防災訓練を行います。五月に第一回目が行われますが、四月から入園した子ども達はサイレンの音に一瞬、何が起き



「被れた！」と大喜び。大合唱 先生!! 出来ません。やっつください!!と自分で防災帽子が被れない子どもは先生を頼ってきます。「ここをベタベタするのよ」と声を掛け、手を貸してあげることにより

たのかな」と言っ顔をしますがやはり大きな音が怖さに変わり、「わいよ」と泣き出す子どもも出てきます。頼りになるのは、担任の先生。先生の周りに集まり、どうしようという顔をしていきますが、大丈夫よ。先生と一緒に家庭に行きましょう」と言う一言で安心した顔に

そして園庭に避難します。年齢を重ね経験していくことにより、「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかよらない」の約束を守り避難することができるようになります。地震や火災想定で訓練は行われますが、日本の各地の地震やスマトラ沖大地震の二ニュースを見ていた子ども達の中から津波がきたらどうするの?などと質問をしてくる子どもも、高いところに行けばいいんだよと教えてあげたりする子どももいて防災訓練の成果も見られるようになります。日々のくり返しの大切さがこの防災訓練でも子ども達の生活に生かされ身を守る大切さ等も気づき身につくことができる行事です。

### 親子親睦会を行うことで

八王子中央幼稚園

新学期がスタートし、毎年四月に、親子で十分にスキャンシップをとり楽しんでいただき、クラスの親睦を深めることを目的とした親子親睦会が行われます。各クラス毎、自己紹介をしたり、ゲームをしたり親子体操をしたりと、内容は様々ですが、どのクラスからも元気な声や、大きな笑い声が聞かれ、子どもも保護者の方々も楽しんでいただいております。大好きな保護者の方と遊んでいる子ども達は、とても生き生きとした表情です。又、子どもの中には保護者の方にベッタリ

で甘えている姿も見られますが、とても微笑ましく思えます。子ども達にとって、保護者の方と一緒に過ごせるのも楽しい、そして嬉しい一日のようです。この親子親睦会を通して、保護者の方々に新しいクラスに親しんでいただき、お友達作りをしていただけられる場となるよう配慮し、計画を立てています。そして、一年間子どもも、保護者の方も、担

### 楽しい遠足

多摩中央幼稚園

入園、進級して一カ月程たった五月上旬に全園児で「子どもの国や、神代植物公園」に遠足に出掛けます。年



少組の桜組にとっては初めての遠足なので、少し緊張しているようです。園バスではなく、黄色い大きなバスに乗って行く為、子ども達は大はしゃぎです。まだ並んで歩くこともおぼつかない桜組は、松組のお兄さん、お姉さんに手を

任も信頼関係を築き、協力し合い楽しく過ごすことが出来るよう願ひ、楽しんであります。



ます。子どもたちが何よりも楽しみにしているのが、保護者の方に作って頂いたお弁当を頂くことで、自分のお弁当を友達に見せて自慢し合いながら、広々とした広場でとても楽しそうに食べています。



体を使って、たくさんしまの国の小川でおたまじゃくしを見つけたら、放牧されている牛や、羊を見たり、搾乳の様子を見学したりと、普段なかなか経験することのできないところを散策し

広場で自然に触れ合うことが出来、子ども達が良い経験出来る貴重な機会だと思ひます。これからは自然に触れる機会を多く持つて心のやさしい子どもに育てていきたいと思ひます。

この度の特別展覧会では、本学へお出で頂いた時の記念として、サインをして頂いた著名人の色紙を展示しております。

第一回目は、昭和六十三(一九八八)年から平成十六(二〇〇四)年にかけてご来学された方々です。特別出品として、三笠宮さま、高円宮さまがお成りになられた時の自筆資料なども併せて公開しております。

来学された順番に展示しておりますので、最初はメキシコシティー、ミュンヘン及びモントリオール・オリンピックの体操で活躍された塚原光男さんです。オ

**特別展覧会**  
**「現代著名人色紙展」**  
 本学を訪れた方々  
 (第一回)



附属中学校・高等学校  
**SEITOKU Orchestra Concert**  
 2005年6月11日(土)  
 開場 / 14:30 開演 / 15:00  
 【会場】 聖徳大学川並香順記念講堂  
 【入場料】 無料  
 当日、開場の時間にご来場ください。  
 指揮 **進藤 初男**  
 演奏 **聖徳大学附属中学校・高等学校オーケストラ**  
 プログラム  
 ムソルグスキー: 交響詩「荒げ山の一夜」  
 ビゼー: アルルの女 第二組曲  
 ベートーヴェン: 交響曲 第5番 八短調《運命》

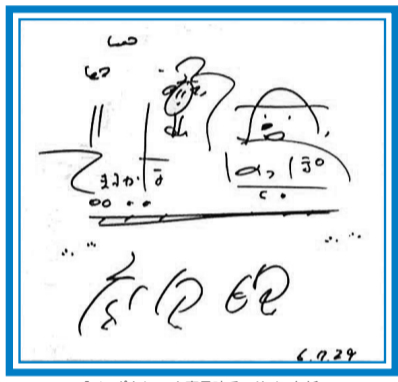


リンピックで団体三連覇という偉業を達成された時の一員として、特に月面宙返りという難しい技を生み出したことで注目された選手です。新しい技に挑むチャレンジ精神を是非見習いたいものです。

そして、帝国ホテルの料理長村上信夫さんの料理の極意それは愛情と工夫と真心でしたと書かれた色紙には、超一流の料理人としての真摯なお気持ちが伝わってきます。

さらに、高見映さんはNHK教育テレビでできるかな(昭和三十一年一九五六年)平成二一九九〇年まで放映でノッポさん役を十四年にわたってつとめ、最終回では初めてしゃべってファンを驚かせました。フジテレビ系ひらけ!ポンキッキのシナリオライターでもあり、童話なども手がけ、幅広く活躍しています。その色紙を見ていると

information  
 会期: 平成17年4月4日(月)~6月30日(木)  
 会場: 聖徳大学8号館  
 クリスタルホール1階  
 利根山光人記念ギャラリー



**【展示されている著名人】**  
 塚原光男(元オリンピック体操選手) / やなせたかし(漫画家) / アグネス・チャン(歌手) / 岡崎裕美(歌手) / 加古里子(童画家) / ケン・ギルバート(タレント) / 高見映(放送作家) / 村上信夫(料理人) / 桜井良子(ジャーナリスト) / 中村メイ子(女優) / 鳴戸俊英(元横)

(以上二十四名)


聖徳大学へお越しの際は電車をご利用下さい。  
 お車のご来場はご遠慮下さい。

西日暮里(地下鉄千代田線) 柏  
 上野(JR常磐線) 東口 (新京成線)  
 公園 団地  
 聖徳大学

松戸駅より徒歩5分  
 イトヨーカド内のエスカレーター等をご利用になる事もできます。(5階出入口)

【催しのお問い合わせ】  
 聖徳大学附属中学校・高等学校  
 〒270-2223  
 千葉県松戸市秋山600  
 Tel.047-392-8111

SEITOKU Orchestra Concert  
 聖徳大学附属中学校・高等学校オーケストラコンサート




2005年6月11日(土) 聖徳大学川並香順記念講堂  
 入場料: 無料  
 当日、開場の時間にご来場ください。  
 指揮: 進藤 初男  
 演奏: 聖徳大学附属中学校・高等学校オーケストラ  
 プログラム:  
 ムソルグスキー: 交響詩「荒げ山の一夜」  
 ビゼー: アルルの女 第二組曲  
 ベートーヴェン: 交響曲 第5番 八短調《運命》

聖徳大学附属中学校・高等学校  
 開催を知らせるチラシ

**山に海に湖に... 夏休みは聖徳学園の宿泊施設をどうぞ御利用ください!!**

**信州春日温泉 かすが荘** <http://www.sas.janis.or.jp/~kasugaso/>

信州春日温泉は八ヶ岳北端、蓼科山麓にある開湯300年の歴史を持つ「秘湯」です。湧き出る温泉の泉質は「美肌の湯」で有名な「アルカリ性単純泉」。溪流のせせらぎを聴きながら入る露天風呂はまさに絶品! テニスや温水プール、体育館など各種スポーツ・研修施設も充実しています。



【かすが荘 正面玄関】 【露天風呂 白樺の湯】 【露天風呂 滝の湯】 【バーベキュー広場】

交通【電車】 上野 (長野新幹線) 佐久平 (バス) 望月 乗換え (バス) 春日温泉  
 【自動車】 大泉 (開越自動車道) 藤岡JCT (上信越自動車道) 佐久I.C. 春日温泉

【お問合せ・ご予約は】...かすが荘(長野県佐久市春日 春日温泉) tel.0267-52-2111 fax.0267-52-2119

**野村記念 勿来海の家** 茨城県と福島県の県境にある「海の家」は勿来海水浴場での海水浴、平潟港や大津港での釣りを楽しめます。「海の家」では自炊もでき、新鮮な魚介類を満喫することもできます。

交通【電車】 上野 (常磐線) 勿来駅 (バス「平潟港行き」) 九面停留所 海の家(徒歩1分)  
 【自動車】 三郷 (常磐自動車道) いわき勿来I.C. (国道6号線) 海の家

【お問合せ・予約は理事室企画渉外課3Gまで】...tel.047-365-1111(内3962・3963)もしくは各学校事務室まで

**聖徳学園 山中湖荘** 富士五湖の中で最も富士山に近い山中湖の湖畔にあります。近くは山中湖での水上スキー、ウェイクボード、バス釣りから、「富士急ハイランド」、遠くは「御殿場プレミアムアウトレット」まで足を延ばせます。山中湖荘の中庭ではバーベキューやテニスもお楽しみいただけます。

交通【高速バス】 京王バス(03-5376-2222) 富士急行バス(0555-72-5111)  
 新宿(中央自動車道) 山中湖(旭丘高速バスターミナル) (徒歩15分) 山中湖荘  
 【自動車】 八王子(中央自動車道) 大月(河口湖方面へ) 富士吉田I.C.(山中湖方面へ) 山中湖荘

【お問合せ・ご予約は】...山中湖荘(山梨県南都留郡山中湖村) tel.0555-62-3111 fax.0555-62-3112

利用料金 【お1人 1泊2食付(平日)】	かすが荘	山中湖荘
・学生、生徒	5,400円~(5,400円~)	5,250円(5,250円)
・児童、園児	4,100円~(4,100円~)	4,100円(4,100円)
・教職員	5,400円~(6,000円~)	5,250円(5,850円)
・卒業生、家族、同伴	8,300円~(9,400円~)	8,150円(9,250円)
・学園関係3才~小学生	4,400円~(4,700円~)	4,400円(4,700円)
・紹介、その他	9,400円~(10,600円~)	9,250円(10,450円)

各施設の詳細は本学園ホームページよりご覧いただけます。



**聖徳大学・聖徳大学短期大学部 / 入試関係行事のご案内**

ようこそオープンキャンパスへ!!

平成17年度 予約不要 入退場自由

**オープンキャンパス**

服装は自由。保護者・先生も大歓迎!!

オープンキャンパスは3つのシリーズに分かれています。ぜひそれぞれのシリーズにお越しください。

**I. 自分発見シリーズ**

- ▶ 6月12日(日) / 13:00~17:00  
自分にあった「入試」選び
- ▶ 6月26日(日) / 13:00~17:00  
AO入試必勝講座

**II. 体験授業シリーズ**

- ▶ 7月17日(日) / 13:00~17:00  
30講座から選んで授業を受けてみよう
- ▶ 8月7日(日) / 10:30~17:00  
聖徳の学生を1日体験しよう
- ▶ 8月21日(日) / 10:30~13:00  
高校1・2年生生まれ!  
ひと足先にキャンパス体験  
13:00~17:00  
AO入試(前期日程)締切迫る
- ▶ 9月11日(日) / 13:00~17:00  
推薦入試必勝講座

**III. 絶対合格シリーズ**

- ▶ 9月23日(金・祝) / 13:00~17:00  
児童学科、保育科を目指す人の入試必勝講座
- ▶ 10月1日(土) / 15:00~17:00  
推薦入試直前必勝講座&保育表現研究発表会
- ▶ 11月12日(土)・13日(日) / 10:00~15:00  
自己・適性推薦入試必勝講座&聖徳祭
- ▶ 12月11日(日) / 13:00~17:00  
一般入試必勝講座&AO入試(後期日程)ラストチャンス

平成18年(2006年)  
▶ 2月12日(日) / 13:00~17:00  
これから受験できる一般入試必勝講座

お待ちしております!

駐車場がないため、公共交通機関をご利用いただき、お車でのご来校はご遠慮ください。

**学校法人 東京聖徳学園**

〒108-0073  
 東京都港区三田3-4-28  
 TEL.03-5476-8811(代)

発行人 川並弘昭  
 編集 理事長室 企画渉外課  
 05.6.1 re (22.)

この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。

The 75th Anniversary

読者の欄

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。お手数ですがご協力のほどよろしくお願い申し上げます。今後、ますます充実させていきたいと思っておりますので、是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートURL <http://www.seitoku.ac.jp/flash/index.html>  
 ご意見・ご感想の宛て先  
 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで  
 (インターネットからは <http://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiawase/> の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)